

# 初詣

# 令和8年保存版 鹿嶋神社のお正月

〈壁にお貼りください〉

<http://www.kashimajinja.jp>



日本人の生活の中で、最も重要なのは、新しい年を迎える暮れから正月にかけての行事でしょう。

そのお正月に、白河地方の総氏神様である鹿嶋神社へお参りし、招福・開運をお祈りしましょう。

「どうして氏神様に参りすることが重要なのか?」というと、私たちの住んでいる地域を護り、私たちを見守ってくださっている神様だからです。

## 【祈祷受付時間・御守の授与時間】

### ◆1月1日

深夜のご祈祷は、行っておりません。

午前8時30分～午後6時30分(祈祷受付・御守授与時間)



### ◆1月2日

午前8時30分～午後4時30分(祈祷受付時間)

午前8時30分～午後6時(御守授与時間)

### ◆1月3日以降(祈祷受付・御守授与時間)

午前8時30分～午後4時30分

### ◆1月7日以降 午前9時～午後4時

※1月18日(日)の祈祷は、午前9時～12時(節分追儺祭のため祈祷は午前中のみです)

※1月5日と1月6日は、会社の社業繁榮祈願で、大変混雑します。5日と6日に厄払いや

家内安全などの個人の祈祷ご希望の方は、ご予約の上、7日以降お越しいただきますようお願ひします。

※1/1-1/5の祈祷受付は、神社左側の大型テント内で行っています。ご祈祷希望の方は、初詣参拝の行列には並ばず、直接テント内で受付をおこなってください。



## 【御初穂(祈祷料)】

○厄払い・方位よけなど、  
個人のご祈願は、  
1祈願5,000円以上です。

○商売繁盛・社業繁榮祈願の  
ご祈願は、  
2万円～3万円です。

## 【方位よけ(八方よけ・鬼門よけ・病門よけ)】

方位よけとは、年まわりが悪く「やることなすことうまくいかない」と言っているもので、方位よけのお祓いにより、その一切の災厄とさわりを取り除くものです。  
☆祈祷を受けた方に、お神札・お守り  
方位よけ縁起物・お神酒を授与します。

## 【延寿祭(えんじゅさい)】

延寿祭は、年祝いとも言われ、これからの人生を健康で楽しく過ごせるように、長寿を祈りお祝いするものです。  
☆祈祷を受けた方に、お神札・お守り  
開運縁起物・お神酒を授与します。

## 延寿祭早見表

※年齢は数え年、男女共通

還暦(かんれき)	61歳(昭和41年生)
古希(こき)	70歳(昭和32年生)
喜寿(きじゅ)	77歳(昭和25年生)
傘寿(さんじゅ)	80歳(昭和22年生)
米寿(べいじゅ)	88歳(昭和14年生)
卒寿(そつじゅ)	90歳(昭和12年生)

## 【苦流祈願(くりゅうきがん)】

年齢に9が付く年はよくないといわれますが、これを祓いするのが苦流祈願で、「苦(<)=9」を流し「十(じゅう)」にして充実した人生を送るように、また、何事も無く年齢を重ねられるようにと祈願するものです。



☆祈祷を受けた方に、お神札  
お守り・苦流祈願守護弓矢  
お神酒を授与します。

## 苦流祈願早見表

※年齢は数え年、男女共通

79歳(昭和23年生)
69歳(昭和33年生)
59歳(昭和43年生)
49歳(昭和53年生)
39歳(昭和63年生)
29歳(平成10年生)

## 厄年早見表

※年齢は数え年

男		女	
前厄	41歳(昭和61年生)	前厄	32歳(平成7年生)
本厄	42歳(昭和60年生)	本厄	33歳(平成6年生)
後厄	43歳(昭和59年生)	後厄	34歳(平成5年生)
厄年	25歳(平成14年生)	厄年	19歳(平成20年生)
		厄年	37歳(平成2年生)

## 方位よけ早見表

※年齢は数え年、男女共通

八方よけ(はっぽうよけ)		鬼門よけ(きもんよけ)		病門よけ(びょうもんよけ)	
73歳(昭和29年生)	37歳(平成2年生)	76歳(昭和26年生)	40歳(昭和62年生)	79歳(昭和23年生)	43歳(昭和59年生)
64歳(昭和38年生)	28歳(平成11年生)	67歳(昭和35年生)	31歳(平成8年生)	70歳(昭和32年生)	34歳(平成5年生)
55歳(昭和47年生)	19歳(平成20年生)	58歳(昭和44年生)	22歳(平成17年生)	61歳(昭和41年生)	25歳(平成14年生)
46歳(昭和56年生)	10歳(平成29年生)	49歳(昭和53年生)	13歳(平成26年生)	52歳(昭和50年生)	16歳(平成23年生)



# 新たな年に願いをこめて

## 【新春祈禱】

### ◎家内安全祈願 ~今年一年のご家族の幸せを祈りましょう~

この一年間、ご家族一人一人が健康で何事もなく有意義に楽しく過ごされるよう、家内安全と諸災厄をお祈りいたします。ご家族あそいで、おいでください。  
☆祈禱を受けた方にお神札・家内安全縁起物・お神酒を授与します。

### ◎健康・身上安全祈願

~今年一年のあなたの健康と身上の安全をお祈りいたします~

健康が一番だと分かっていても、体に負担をかけ無理をすることも度々だと思います。一年間の健康と身上の安全をお祈りし、神様のご加護をいただきましょう。  
☆祈禱を受けた方にお神札・お守り・守護鉢・お神酒を授与します。



### ◎安産祈願 ~5ヶ月目の都合のよい日にお祓いを受けます~

お母さんのおなかの中に赤ちゃんが宿ると、五ヶ月目の戌の日には『帯祝い』が行われます。戌の日を選ぶのは、犬が安産であることにあやかるものです。平安無事に赤ちゃんが誕生するように祈りましょう。安産祈願の御祈祷（お祓い）は、戌の日に『帯祝い』が出来るように、戌の日の前のご都合のいい日にお祓いを受けてください。☆祈禱を受けた方にお神札・お守り・腹帯・お神酒を授与します。

えんむすびきがん

### ◎縁結祈願 ~良いご縁がありますように…~

良いご縁があるように、また好きな人と縁が結ぶるようにといつの世も人々は願ってきました。神さまが良い縁を授けてくださるようにお祈りしましょう。

☆祈禱を受けた方に、お神札・お守り・縁結びみほぎ玉・お神酒を授与します。

### ◎子授け祈願 ~子宝に恵まれますように…~

「赤ちゃんが欲しいけれど、なかなか子宝に恵まれない」というお悩みをお持ちの方は少なくありません。一人目が欲しいと願う人、二人目が欲しいと願う人など様々です。そんなときこそ、心静かに神さまにお祈りいたしましょう。

☆祈禱を受けた方に、お神札・お守り・子宝の神玉・お神酒を授与します。

### ◎清祓い ~身に付いた一切のけがれをお祓いいたします~

昨年は、「病気やケガが多くて…」など、大きな病気やケガではないけれど、どうも調子が良くなかったと感じる方、また「最近良くない事が続く」など感じる方は、このような状態を神道では「けがれ」といいます。清祓いとは、この「けがれ」をお祓いにより取り除き清らかな普通の生活に戻るための祈祷のことです。新年にあたり昨年中のすべての災いをお祓いし、新たな年を清らかにスタートいたしましょう。☆祈禱を受けた方にお神札・お守り・開運鉢・お神酒を授与します。

また、家族の何人かが「病気やケガが多いとか、良くないことが続く」場合は、家内安全祈願をお勧めいたします。

**【お酒のご奉納について】** ご祈祷の折、お酒を奉納し今年一年の家内安全や無病息災を祈りましょう。奉納されたお酒は、神前にお供えし神様にご奉告します。奉納された方には記念品を授与します。※お酒の奉納は、1升もしくは2升で、「箱入り・し紙付き」でお願いします。

正月の預かり期間／令和7年12月15日～令和8年1月6日  
正月のどんど焼き／令和7年12月31日～令和8年1月3日

節分の預かり期間／令和8年1月17日(土)～18日(日)午後3時まで

節分のどんど焼き／令和8年1月18日(日)午後2時～午後3時まで(一日限り)

※節分追儺祭の時に正月飾りやしめ縄などのお焚き上げを行います。

この節分のどんど焼き以降は、縁起物、しめ縄などのお預かりは出来ません。お札お守りについては、一年を通してお預かりします。

**預かれるもの**  
お神札・お守り・神棚  
御神矢・注連縄・熊手  
縁起物

**預かれないもの**  
だるまる(だるま市で納めてください)  
人形・ぬいぐるみ  
門松・カレンダー(暦を含む)  
ガラス製品・瀬戸物・金属製品  
燃えないもの等

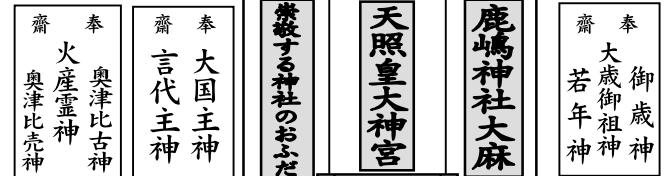
20251214

## 神宮大麻と氏神様のお神札

神宮大麻とは、伊勢神宮のお神札のことです。神宮大麻と氏神様(鹿嶋神社)のお神札を神棚にお祭りします。

お神札は、毎年年末に新しく(交換)します。

### 【神棚のまつり方】



※神宮大麻は、鹿嶋神社でお受けください。

### 【神棚のお正月準備】

毎年、年末に新しいお神札に交換します。年末の大掃除の時に神棚を掃除します。その時にお神札・縁起物などをあげます。古いお神札縁起物は年内に鹿嶋神社に納めます。その折に新しいお神札(神宮大麻・鹿嶋神社のお神札・年神様のお神札)を受けてきます。お掃除をして、きれいになった神棚に新しいお神札を納め、お正月を迎える準備が整います。新しいお神札をお祭りする時期の日安は12月15日～30日頃です。年内にお正月準備をします。

### 【服忌(ぶっき)について】

「服忌(ぶっき)」とは、家族や親族などが亡くなったとき、一定の期間を喪(も)に服(ふく)すことです。その期間には、神社の参拝や家庭での神棚のお祭りを控えます。

お正月近くになると「今年、父親・母親・親戚の〇〇が亡くなっている喪中なんですが、新しいお神札に交換(お祭り)しても、来年お正月を迎えてもいいのでしょうか?」という問い合わせがあります。喪に服す期間、服忌(ぶっき)の期間は、亡くなった方とあなたの間柄により決まります。

あなたから見た続柄(間柄)が、

- ・父母・夫・妻・子は 50 日
- ・祖父母・孫・兄弟姉妹は 30 日
- ・その他の親族は 10 日

最長でも 50 日です。そのため、上記の期間が過ぎていれば、お神札を年末に交換しても、お正月を迎えて大丈夫です。

また、12月頃に亡くなられ、50日が1月(お正月)になる時には、50日が過ぎた時点でお神札を交換(お祭り)するようにしましょう。

## 鹿嶋神社

